

2020年3月期EV・ESR説明会

2020年5月25日



EVの状況

EVの内訳

(億円)

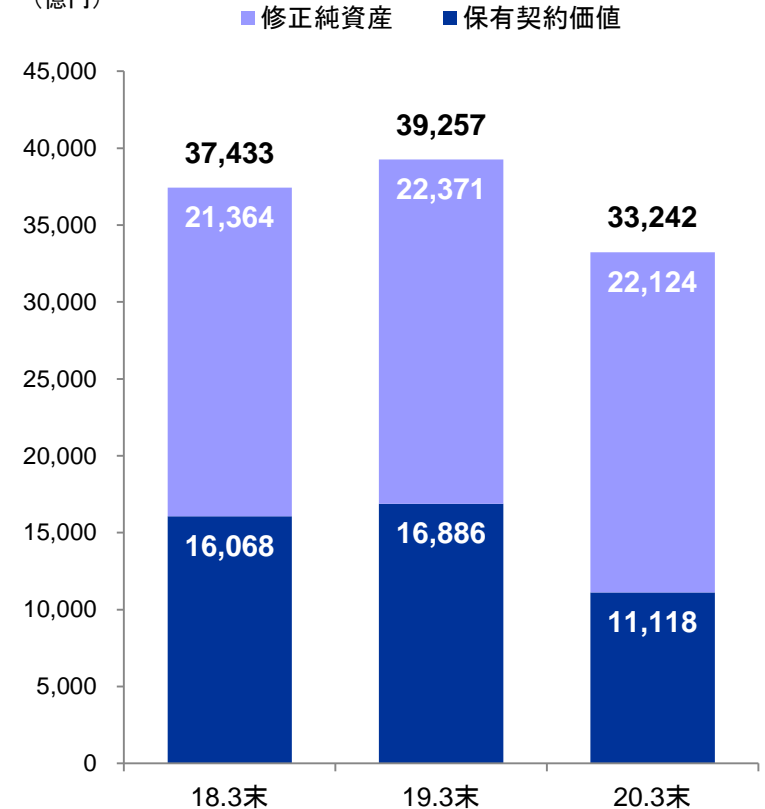
	19.3末	20.3末	増減額 (前期末比)
EV	39,257	33,242	△6,015 (△ 15.3 %)
修正純資産	22,371	22,124	△247 (△ 1.1 %)
保有契約価値	16,886	11,118	△5,767 (△ 34.2 %)

	19.3期 ¹	20.3期 ²	増減 (前期比)
新契約価値 ³	2,238	606	△1,631 (△ 72.9 %)
新契約マージン ⁴	5.9 %	4.1 %	△1.8ポイント

1. 2018年4月から2019年3月までの新契約をベースに2018年12月末の経済前提を使用
2. 2019年4月から2020年3月までの新契約をベースに2019年12月末の経済前提を使用
3. 特約の切替加入による価値の増減分を含む
4. 新契約価値を将来の保険料収入の現在価値で除したもの
5. 終局金利は2018年度以前は3.5%、2019年度は3.8%を使用

EVの推移

(億円)



EVの変動要因

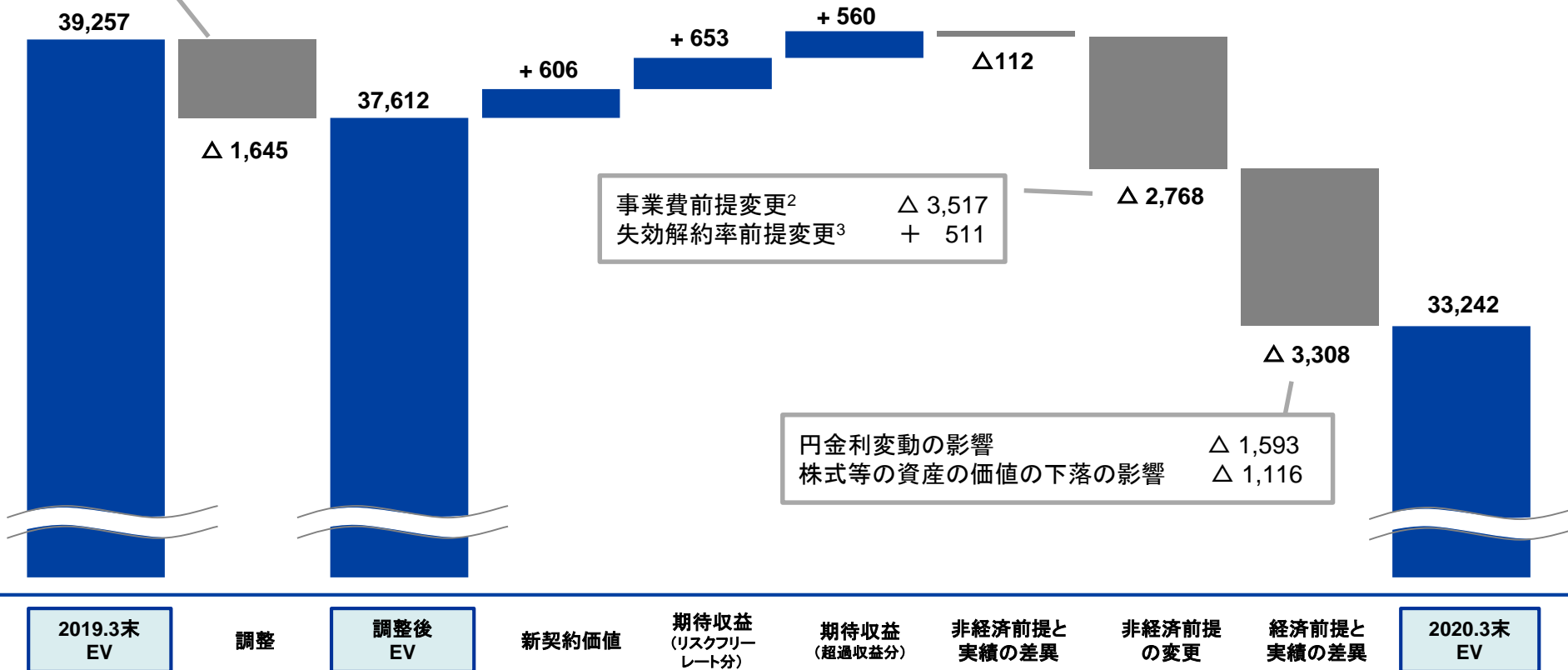
中長期のRoEV¹目標
6~8%

自己株式取得 △999
株主配当 △645

RoEV¹ : △2.8%

RoEV¹ (非経済前提の変更を除く) : 4.5%

(億円)



- EVの変動要因から「経済前提と実績の差異」を除いた値
- 事業費前提については直近の実績を織り込むとともに、会社全体(旧簡易生命保険契約を含む)の保有契約量が減少基調にあることから、事業費率の上昇を見込んで設定。将来の保有契約量の前提を、2019.3末EVでは過去の実績から設定していたが、2020.3末のEVでは募集品質問題に係る現時点での状況を踏まえて設定したため、将来の保有契約量の見込みが減少することとなり、前提となる事業費率が上昇
- 2019.3末のEVでは乗換による影響を含めて失効解約率を設定していたが、2020.3末のEVでは業務改善計画において、契約乗換への対策を行うこと、条件付解約等制度や契約転換制度を導入すること、そしてこれらの制度を活用した新契約の新契約価値については、正味増加分のみを評価することを予定していることから、乗換による影響を除外して失効解約率を設定したため、前提となる失効解約率が低下

感応度分析

経済前提に関する感応度

(億円)

前提条件	EV	増減額(増減率)
リスク・フリー・レート50bp上昇	36,777	+ 3,534 (+ 10.6 %)
リスク・フリー・レート50bp低下	29,308	△ 3,934 (△ 11.8 %)
リスク・フリー・レート50bp低下(低下後の下限なし)	27,696	△ 5,545 (△ 16.7 %)
株式・不動産10%下落	32,050	△ 1,192 (△ 3.6 %)

非経済前提に関する感応度

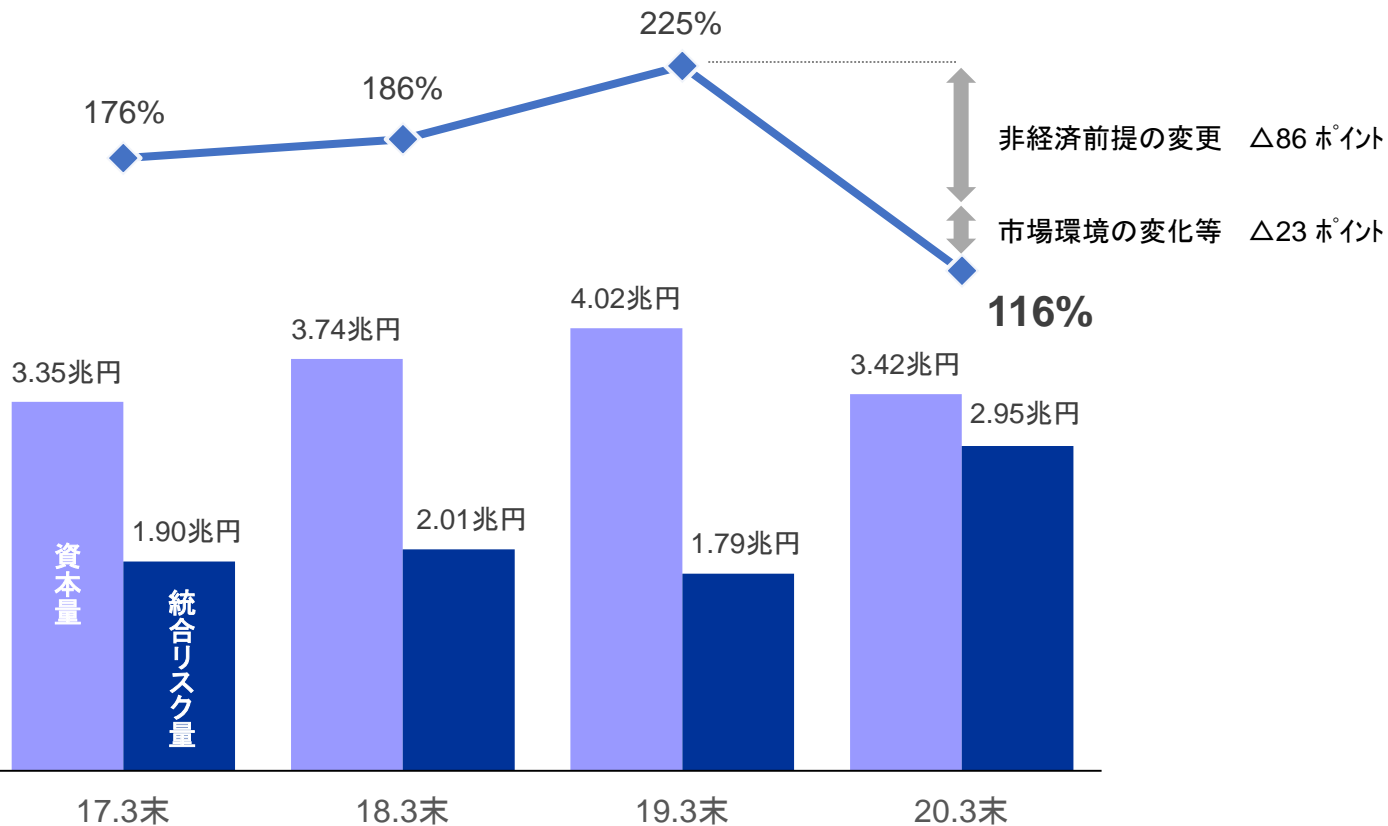
(億円)

前提条件	EV	増減額(増減率)
将来の保有契約量が2020.3EVの計算上で想定している水準の1.05倍 ¹	34,105	+ 862 (+ 2.6 %)
将来の保有契約量が2020.3EVの計算上で想定している水準の0.95倍 ¹	32,265	△ 977 (△ 2.9 %)
事業費率(維持費)10%減少	35,871	+ 2,629 (+ 7.9 %)

1. 第三者の検証を受けていない試算値

ESRの状況

- 2020年3月末のESRは、非経済前提の変更及び市場環境の変化等により資本量が減少、統合リスク量が増加し、116%に低下いたしました。
- ESRについては、その時々的前提条件によって大きく変動することから、中長期の視点から参照し対応していく指標と位置づけております。



ESR感応度 (2020年3月末)

リスク・フリー・レート 50bp上昇	+46 ポイント
リスク・フリー・レート 50bp低下 (低下後の下限なし)	△31 ポイント
株式・不動産 10%下落	△5 ポイント

将来の保有契約量*が1.05倍	+8 ポイント
将来の保有契約量*が0.95倍	△8 ポイント

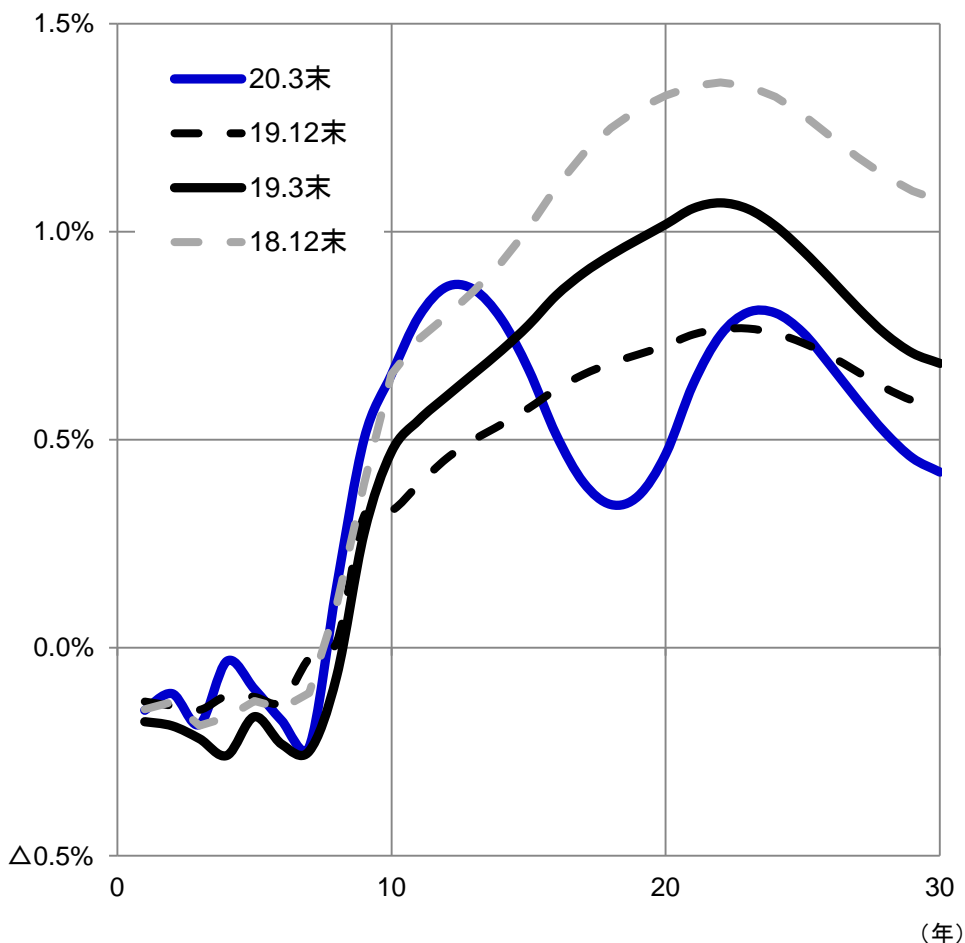
* 2020.3EVの計算上で想定している水準

ESR (2019年9月末)

ESR	128 %
資本量	3.57 兆円
統合リスク量	2.80 兆円

(参考)金利(EVの前提条件)¹の変動

フォワード・レート(18.12-20.3)



フォワード・レートの推移

	18.12末 ^①	19.3末 ^②	19.12末 ^③	20.3末 ^④
10年	0.657 %	0.471 %	0.329 %	0.657 %
20年	1.327 %	1.017 %	0.726 %	0.466 %
30年	1.074 %	0.683 %	0.578 %	0.422 %

注: EVおよび新契約価値の計算に用いた経済前提は以下のとおり
 2019年3月期の新契約価値: ①
 2019年3月末EV: ②
 2020年3月期の新契約価値: ③
 2020年3月末EV: ④

1. 金利(EVの前提条件)は、財務省公表の国債の流通利回りを基に作成したフォワード・レートを使用

(参考) 2019年6月末、2019年9月末、2019年12月末のEV

■ 2020年3月末のEVと同じ非経済前提に基づいて計算した2019年6月末、2019年9月末、2019年12月末のEVは以下のとおりです。

(億円)

	19.6末 ¹	19.9末 ¹	19.12末 ¹
EV	34,201	34,789	35,853
修正純資産	21,354	21,865	21,933
保有契約価値	12,846	12,924	13,919

	20.3期1Q ^{1,2}	20.3期2Q ^{1,3}	20.3期3Q ^{1,4}
新契約価値 ⁵	646	667	638
新契約マージン ⁶	6.6%	4.9%	4.4%

1. 第三者の検証を受けていない試算値。終局金利3.8%を使用
2. 2019年4月から2019年6月までの新契約をベースに2019年3月末の経済前提を使用
3. 2019年4月から2019年9月までの新契約をベースに2019年6月末の経済前提を使用
4. 2019年4月から2019年12月までの新契約をベースに2019年12月末の経済前提を使用
5. 特約の切替加入による価値の増減分を含む
6. 新契約価値を将来の保険料収入の現在価値で除したもの